

デーリー東北

2018年(平成30年)6月22日(金曜日)(19)

生物の生態に理解を深める
種差海岸で
放送大講義

放送大学は16、17の両日、八戸市の種差海岸インフォメーションセンターで、八戸工業大・生命環境科学科の中義幸教授を講師に迎え、「環境と生物－種差海岸で考える－」と題した講義を行った。県内外の受講生約20人が、自然や生物に触れながら、種差海岸の生態系や景観について理解を深めた。

講義は国立公園に指定された種差海岸で、環境と生物の関係性を学んでもらおうと企画された。16日は、種差海岸でヒルガオをはじめとする植物の写真を撮影したり、スガモなどの海藻を採取したりし、生物の生態について観察した。(佐藤雄)



種差海岸で採取した海藻などを観察する受講生